

(別紙 1)

再生肥料を製造する中間処理業者の現状把握のための Web 調査

公益社団法人全国産業資源循環連合会

1. 本調査の目的

2050 年カーボンニュートラルに向けてサーキュラーエコノミーの動きが加速するなかで、農政分野では、令和 3 年に農林水産省が策定した「みどりの食料システム戦略」により、肥料の使用量に占める国内資源の利用の割合を 2030 年までに 40%に拡大することを目標として、肥料の国産化・安定供給確保に向けた具体的施策の検討が進められています。

今後、食品残さや下水汚泥などの有機性廃棄物由来の再生肥料については、更なる需要の拡大とともに再生製品の品質確保や安定的供給が求められるようになるため、産業廃棄物処理業者の役割や責任がなお一層重要になることが見込まれています。

一方、再生肥料を製造する産業廃棄物処理業者においては、有機系廃棄物の取扱実態や再生に係わる技術的情報などの資源循環に必要な情報が適切に共有されていないため、個々の事業者の判断で新たな政策的動きに対応せざるを得ないことが課題となっています。

産業廃棄物処理業者においては、今後、再生肥料に係る官民・動静脈一体となったサプライチェーン間の連携が課題となることから、再生肥料の製造に関する基礎的情報を把握し農政分野に対応する組織体制を整備することが重要であると考えています。

つきましては、再生肥料を製造する中間処理業者に対する現状把握のための Web 調査へのご協力をお願い申し上げます。調査結果は、様々な施策協議の場で肥料化に取り組む事業者の実態を示す資料として活用いたします。

※ ご回答は個社名が分からないように統計的に取り扱います。

※ 結果は連合会 Web サイトにて公開します。

2. 実施期間

令和 6 年 2 月 19 日(月)から 3 月 8 日(金)

3. 調査対象

再生肥料を製造する中間処理業者

4. 調査内容

別紙 2 のとおり

5. 回答方法 全産連 Web サイトのトップページ「最新情報」からパソコン等を用いて回答してください。

<https://www.zensanpairen.or.jp/>

<問合せ先>

公益社団法人全国産業資源循環連合会 担当：日浦

Phone 03-3224-0811(代表) E-mail saisei_chosa@zensanpairen.or.jp

(メールでの回答は受け付けできません。)